

動物介在福祉学

1年 前期・後期 20時間制

講師 藤田 白井

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務, 犬の幼稚園・保育園/しつけ方教室におけるドッグトレーニング(しつけ)業務
学科・クラス指定等	1年生 全コース
学習目標	動物介在活動と動物福祉を理解し、動物との共生、欧米の文化である動物福祉の考えを理解する
学 び の キーワード	動物介在、介在活動、介在教育、介在療法、犬の適性、適性検査、動物福祉
準備学習及び復習の内容・履修条件	事前に教科書を読んでおくこと。各授業後のノートの内容を復習すること
授業方法	全ての講義はホワイトボードを利用して板書される。必要に応じて資料を配付するが、教科書に基づいて行う。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。必要に応じて、段階的な理解を深めるために中間試験を実施する場合もある。
成績評価基準	試験において、学びのキーワードを理解していること。講義への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備 考	
授業回数	
1	動物福祉の歴史 (人の福祉、動物の福祉とは何か)
2	動物福祉の歴史 (西洋と日本の動物観の違い)
3	動物福祉の歴史 (日本における動物福祉と愛護)
4	伴侶動物の福祉
5	動物と人の絆 人にもたらす3つの効果
6	子どもの発達と動物の関連性
7	高齢者施設に及ぼす動物の効果
8	犬の適性
9	動物介在活動の流れ
10	動物介在活動の注意点